

福岡県米麦大豆生産改善速報 第5号

令和元年10月2日
福岡県
福岡県米麦品質改善協会

大豆の生育概況と今後の対策

1. 気象経過 [太宰府アメダス]

	7月8日～9月20日 (75日間)				
	平均気温	最高気温	最低気温	日照時間	降水量
	℃	℃	℃	hr	mm
本年	26.9	31.7	23.5	354	1,054
前年差(比)	-1.3	-1.7	-0.7	63	371
平年差(比)	+0.6	+0.7	+0.7	89	190

2. 農林業総合試験場における大豆の生育概況

7月8日～9月20日の気温は平年に比べて0.6℃高く、日照時間は11%少なく、降水量は90%多かった。本年は梅雨明けが遅く(7/24で5日遅い)、7月中旬は大雨、8月中下旬は多雨寡照傾向が続いたが、9月以降は高温・少雨・多照傾向で推移している。

7月8日播の生育は、平年に比べて苗立ち歩合が2.7ポイント高く、開花期は1日遅かった。9月20日時点の主茎長は6%長く、主茎節数は0.3節多く、㎡当たり莢数は13%多く、地上部乾物重は12%重くなった。倒伏程度は微～少であった。

7月24日播の生育は、平年に比べて苗立ち歩合が5.6ポイント高く、開花期は平年並で、主茎長は3%短く、主茎節数は0.4節少なく、㎡当たり莢数は8%少なく、地上部乾物重は11%軽くなった。倒伏程度は無であった。

3. 農林業総合試験場農産部における調査成績 (フクユタカ：9月20日調査)

播種期	年次	苗立ち歩合	開花期	主茎長	主茎節数	莢数	地上部乾物重	倒伏程度
月・日		%	月・日	cm	節	/㎡	g/㎡	
7.8	本年	96.4	8.20	72	16.0	1498	727	微～少
	前年比(差)	+7.3	+1	102	-0.8	93	86	(無～少)
	平年比(差)	+2.7	+1	106	+0.3	113	112	—
7.24	本年	91.9	8.31	57	13.3	900	446	無
	前年比(差)	+0.4	+3	101	+0.1	80	79	(無)
	平年比(差)	+5.6	±0	97	-0.4	92	89	—

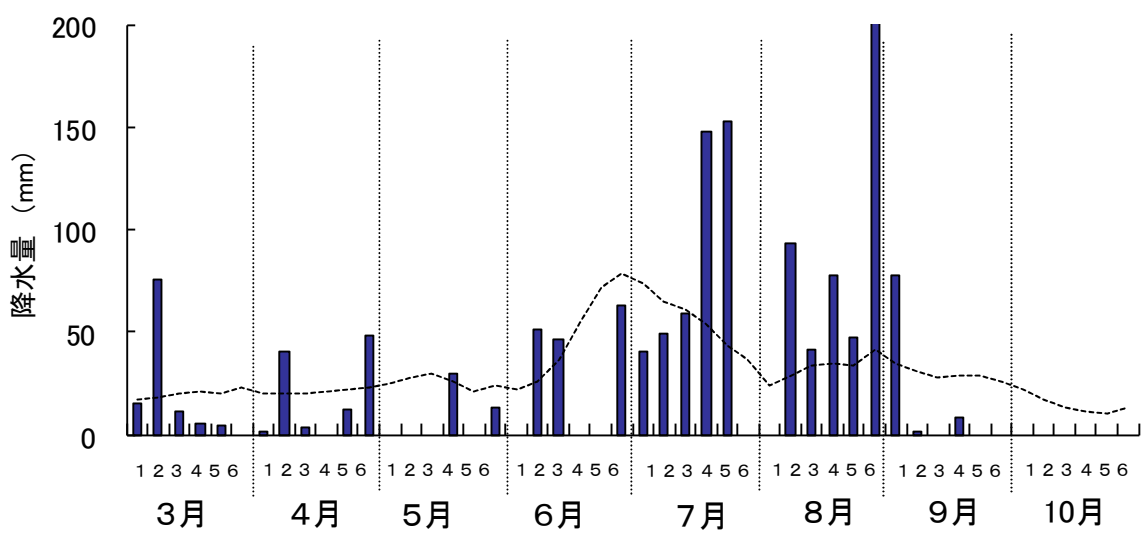
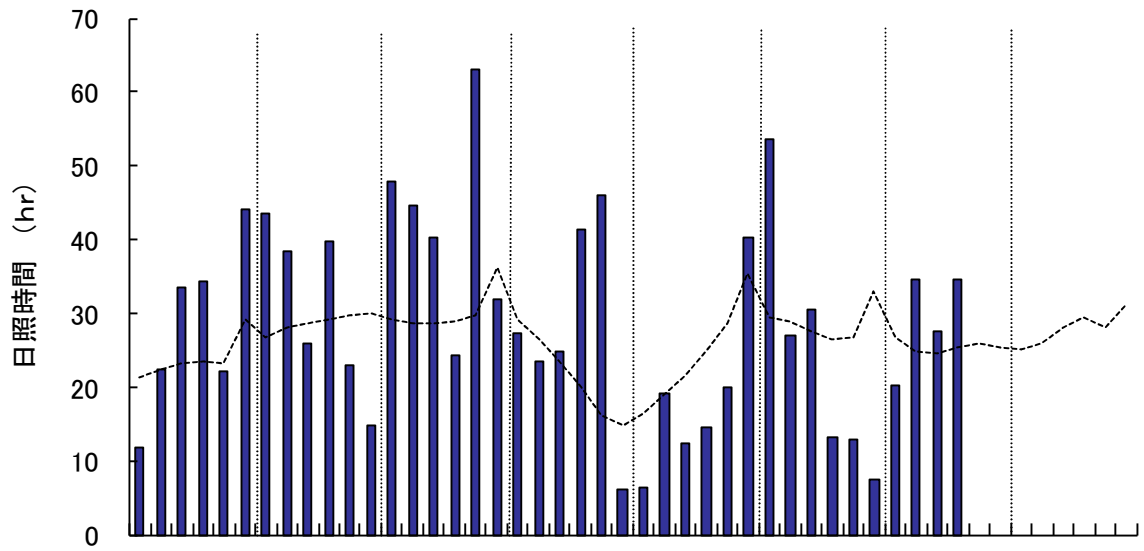
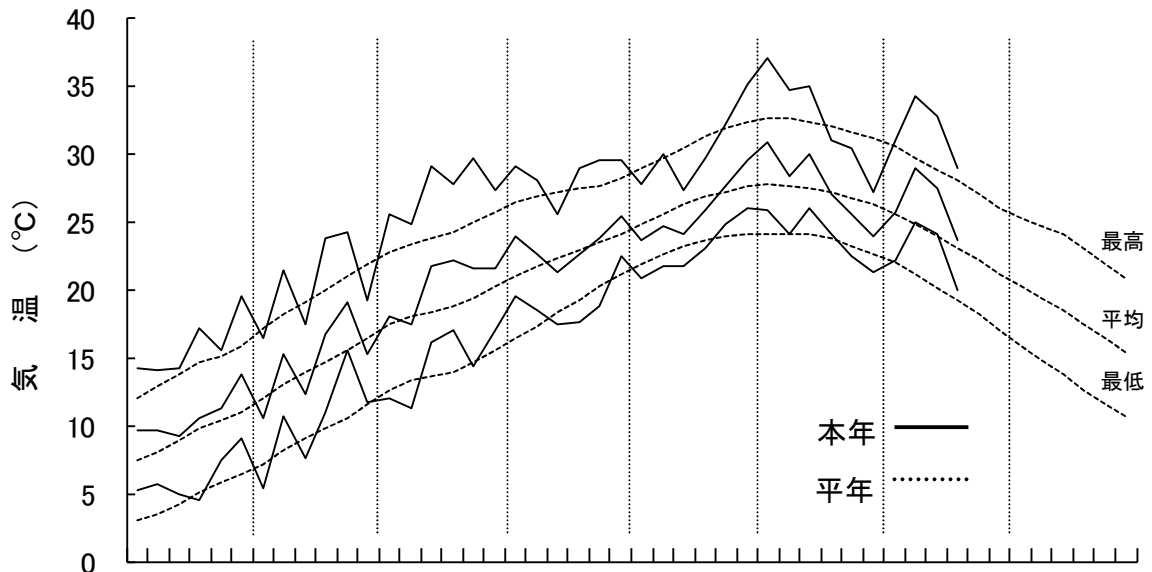
注1) 平年値は平成21～30年の平均値。なお、7月24日播の主茎長、主茎節数、莢数および地上部乾物重は、平成21、22および24～30年の9か年の平均値。

2) 播種密度 7月8日播：70×20cm(7.1株/㎡、2本立) 7月24日播：70×15cm(9.5株/㎡、2本立)

3) この数値は暫定値で今後変更することがある。

4. 今後の対策

ハスモンヨトウやカメムシ類の発生状況に注意し、紫斑病とともに適宜、防除を実施する。排水口の再整備や枕地作溝を行い、降雨によるほ場内の停滞水が生じないようにする。雑草の発生が多い圃場では、特に大型雑草の抜き取り等を行い、収穫時の汚損粒発生防止に努める。



2019年(令和元年)夏作期間の気象(太宰府アメダス)